

第14回 2021年4月19日（月）『税・財政ゼミナール』開講しました。

2021年4月19日（月）第14回『税・財政ゼミナール』が参加10名で開講されました。
テーマは、『ベーシックインカム』でした。

コロナ禍における更なる貧困化、AIの急速な発展により仕事が奪われる中での生活保障・・・様々な理由から、改めて注目されている「ベーシックインカム」について発表がありました。

竹中平蔵氏のベーシックインカム案については、社会保障を崩壊させるなど、批判的な意見が相次ぎました。財源の問題はあるにしろ、憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」のためにベーシックインカムのものは必要、社会保障等の「ベーシックサービス」をまず充実させるべき、そもそも必要ない、など様々な議論が交わされました。

また、最後には前回のテーマであるデジタル課税について、簡単にフォローアップがありました。

次回のゼミナールは、下記のとおり開講いたします。

第15回『税・財政ゼミナール』の日程は以下の通りです。

テーマ：『法人税増税は是か非か。また増税方法は？』

今回は、ゼミナール初の試みとして、法人税増税について、賛成派・反対派に分かれ、ディベート形式で行うことを考えています。

法人税減税の世界的な流れが止まり、増税を打ち出す国が出る中、果たして日本はどうするのか、活発な議論を期待します。

日時：2021年10月7日（木） 14：00～17：00

※コロナ等の状況により変更となる場合がございます

会場：東京都新宿区四谷三栄町4番10号 税研ビル1階

応募：9月24日（金）までに下記の連絡先へお電話をください

氏名・連絡先を担当者へお伝えください

TEL 03-3359-4731 （担当者：荒川）

※テーマ等最新の情報は当ホームページ上でご確認下さい。

※税や財政に関して少しでも興味のある方、税や財政について知りたいと

思われている方は、是非ご連絡をお願いいたします。